チケットのお求め方法

発売初日は10:00から電話とインターネットで受付し、
窓口販売は翌日からとなります。

電話予約 三鷹市芸術文化センター **Tel: 0422-47-5122**（受付時間 10:00–19:00）

窓口販売 販売場所：芸術文化センター / 三鷹市公会堂（さんさん館）/ 美術ギャラリー
受付時間 10:00–19:00　休館日 月曜日（月曜日が休日の場合は開館）、4/30（火）、5/1（水）、7（火）、8（水）
＊美術ギャラリー臨時休館日 4/10（水）、5/9（木）

インターネット予約（要事前登録） **https://mitaka-art.jp/ticket**

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます
口座番号〈ゆうちょ銀行〉00190-5-569156　加入者名 三鷹市芸術文化センター
＊備え付けの「払込取扱票」をご記入ください。＊振込手数料はお客様のご負担になります。
＊普通郵便の場合82円、簡易書留ご希望の場合392円を加算してお振り込みください。＊お振り込み後、10日程度でチケットをお届けします。

MARCL〈マークル〉会員募集中!!　年会費 2,000円
会員特典：チケットの優先予約・割引（1公演2枚まで）、ポイントの還元（ご利用額の5%）、情報誌の送付、
チケットの無料送付（口座会員のみ）、スポーツ教室無料体験チケットの送付（年1回）、レストランの割引　など

財団主催のチケットまたは半券で、三鷹駅周辺等のパートナーショップの特典が受けられます!
http://mitaka-sportsandculture.or.jp/zaidan/info/partnershop.html

講座申込システム　https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp/

スポーツ教室や市民大学、生涯学習講座などをインターネットからお申し込みできます。

公演事業では、特に表示のない場合、未就学児のご入場をお断りしています。
託児あり　このマークがついている公演には託児サービスがあります。　料金：500円　定員：10人
対象：1歳～未就学児　お申し込み：各公演の2週間前までに芸術文化センターへ（先着順）

発行 公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団
〒181-0012 三鷹市上連雀6-12-14 三鷹市芸術文化センター内　http://mitaka-sportsandculture.or.jp/
2019.3.31
designed by Kentaro Kato, Fumiki Tomioka

April 2019
公益財団法人
三鷹市スポーツと文化財団
情報誌［マークルプラス］

MARCL+ 146

音楽・演劇・美術・文芸・スポーツ・生涯学習

ウィーン＝ベルリン ブラス・クインテット

9月16日（月・祝）15:00開演
三鷹市芸術文化センター 風のホール
Music P13

Interview
日本のラジオ
屋代秀樹×安東信助×沈ゆうこ P7

Music
アンサンブル・ウィーン＝ベルリン P14
ブルガリアン・ヴォイス　アンジェリーテ P15
吉井瑞穂（オーボエ）＆鈴木大介（ギター） P16
風のホールでピアノを弾こう P17

Theater
CINEMA SPECIAL 名監督×名女優 P1
日本のラジオ P5
桂 宮治 P9
柳家さん喬 P9
古今亭菊之丞 P10
寄席井心亭 P10
柳家花緑のこども寄席 P11

Art
日日是アート
～ニューヨーク、依田家の50年!～（仮称） P20

Literature
企画展示 太宰治と今官一
～郷里から三鷹へ～ P18
太宰治作品朗読会 P18
企画展 女人哀詞の時代 P19
おはなし会 P19
春の朗読コンサート P20

Sports
ちびっこ水遊び教室 P21

Lifelong Learning
平成31年度 市民大学学習生募集 P23
花壇サポーター養成講座 P24
初めての方向け 薬膳料理で健康長寿! P24

公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団

CINEMA SPECIAL

名監督×名女優

いつしか、名コンビと呼ばれる、二人がいた。

映画が銀幕と呼ばれ、日本映画が燦然と輝いていた時代。
いつしか、名コンビと呼ばれることとなる、二人がいた。

名監督×名女優。

その意を汲み、その想いを託し、
スクリーンの中で呼吸した、二人。

他の監督では、他の女優では、
決して作りえなかった映画が、ここにある。

全席指定　各回2本立て / 昼夜入替制
1本目と2本目の間に、約30分間の休憩あり
全公演 昼の部11:00 / 夜の部16:00 上映開始
各回 会員900円 / 一般1,000円 / 学生800円
＊未就学児は入場できません。

協力：東宝株式会社、日活株式会社、株式会社KADOKAWA、
松竹株式会社、TOHOマーケティング株式会社、崑プロ

【お客様へ】上映に際しましては、試写を行うなど最善を尽くしておりますが、製作年数が古いため、映像・音声が悪い場合がございます。ご了承のうえ、ご覧いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

「名監督×名女優」ラインナップ

上映日	監督×女優	作品名	分数	チケット発売日
5月11日(土)	溝口健二 × 田中絹代	『武蔵野夫人』 『噂の女』	88 84	会員 4月11日(木) 一般 4月12日(金)
6月8日(土)	市川 崑 × 岸 惠子	『かあちゃん』 『細雪』	96 140	会員 5月9日(木) 一般 5月10日(金)
7月6日(土)	川島雄三 × 新珠三千代	『洲崎パラダイス赤信号』 『あした来る人』	81 115	会員 6月6日(木) 一般 6月7日(金)
9月28日(土)	小津安二郎 × 原 節子	『東京暮色』 『小早川家の秋』	140 103	会員 7月4日(木) 一般 7月5日(金)
10月19日(土)	成瀬巳喜男 × 高峰秀子	『女が階段を上る時』 『浮雲』	111 124	会員 9月26日(木) 一般 9月27日(金)

5月11日(土)　チケット発売日　会員 4月11日(木)　一般 4月12日(金)

	分数	昼の部	夜の部
武蔵野夫人	88	11:00–12:28	16:00–17:28
噂の女	84	13:00–14:24	18:00–19:24

溝口健二×田中絹代

【溝口健二】
1898年(明治31年)東京に生まれる。1923年(大正12年)『愛に甦る日』で映画監督デビュー。1936年(昭和11年)『浪華悲歌』『祇園の姉妹』と立て続けにヒットを飛ばした後、1940年(昭和15年)『浪花女』で初めて田中絹代を起用。絹代とは合計15本の作品で組み、『西鶴一代女』『雨月物語』『山椒大夫』などの傑作を生んだ。1956年(昭和31年)8月24日永眠。享年58歳。

【田中絹代】
1909年(明治42年)山口に生まれる。1924年(大正13年)14歳の時、野村芳亭監督の『元禄女』でデビュー。1931年(昭和6年)日本初の本格的トーキー映画『マダムと女房』に主演し好評を博した後、1938年(昭和13年)に封切られた『愛染かつら』が空前の大ヒットを記録。代表作に『西鶴一代女』『山椒大夫』『楢山節考』など。1977年(昭和52年)3月21日永眠。享年67歳。

©TOHO CO., LTD.

『武蔵野夫人』

(東宝 / 1951年 / 88分 / 白黒 / 35mm)

監督：溝口健二　原作：大岡昇平『武蔵野夫人』
出演：田中絹代、森 雅之、山村 聡、轟 夕起子、片山明彦、塩沢登代路、千石規子、進藤英太郎

東京の西に広がる武蔵野台地、国分寺から小金井にかけての、通称「はけ」と呼ばれる土地を舞台に、心が通じ合わない夫との生活の中で、懸命に自分の気持ちを支え続ける妻の姿を描いた、大岡昇平原作のベストセラーの映画化。夫の気持ちが離れていることを知りながら、耐え忍び生きてきた妻の心の揺れを、淀みなき溝口健二演出のもと、田中絹代が好演。戦後の武蔵野の地の、自然豊かな風景も懐かしき、傑作である。

©KADOKAWA1954

『噂の女』

(大映京都 / 1954年 / 84分 / 白黒 / 35mm)

監督：溝口健二　脚本：依田義賢、成澤昌茂
出演：田中絹代、久我美子、大谷友右衛門、進藤英太郎、田中春男、見明凡太朗、十朱久雄、浪花千栄子

かつて京都において、祇園と並ぶ花街であった島原を舞台に、旦那に先立たれたのち、老舗の遊郭「井筒屋」を、女手ひとつで切り盛りしてきた初子(田中絹代)と、最愛の一人娘・雪子(久我美子)との間の愛憎と葛藤を軸に、花街で働く女たちのやるせないまでの悲哀を織り交ぜながら、溝口監督ならではのシャープで的確な演出のもと描き出した名品。田中絹代が最後に出演した溝口健二監督作品となった。

6月8日(土)

チケット発売日
会員 5月9日(木)
一般 5月10日(金)

	分数	昼の部	夜の部
かあちゃん	96	11:00–12:36	16:00–17:36
細雪	140	13:05–15:25	18:05–20:25

市川 崑×岸 惠子

【市川 崑】

1915年(大正4年)三重に生まれる。1936年(昭和11年)企画・原案・脚本・作画・監督・撮影・編集を一人で行った短編アニメ映画『新説カチカチ山』が処女作。以後、日本映画黄金期から平成の時代まで、数々のヒット作を手掛けた。岸惠子とは1960年(昭和35年)『おとうと』で初めて組み、『悪魔の手毬唄』『古都』など計8作品を世に送り出した。2008年(平成20年)2月13日永眠。享年92歳。

【岸 惠子】

1932年(昭和7年)神奈川に生まれる。1951年(昭和26年)吉村公三郎監督『我が家は楽し』でデビュー。1953年(昭和28年)『君の名は』で一世を風靡した後、1956年(昭和31年)フランス・日本合作映画『忘れえぬ慕情』に出演したのをきっかけに、同映画のフランス人監督イヴ・シャンピと結婚。以後、日本とフランスを往復しながら数多くの作品に出演。代表作に『ここに泉あり』『早春』『おとうと』など。

©日活・イマジカ・シナノ企画

『かあちゃん』

(映像京都・日活・イマジカ・シナノ企画/2001年/96分/カラー/35mm)

監督:市川 崑　原作:山本周五郎『かあちゃん』
出演:岸 惠子、原田龍二、うじきつよし、山崎裕太、勝野雅奈恵、中村梅雀、小沢昭一、春風亭柳昇

時は天保末期。相次ぐ飢饉もあり、江戸の庶民の生活は困窮を極めていた。長屋で5人の子供を育てるおかつ(岸惠子)もまた、慎ましい生活を送っていたが、困っている人を思いやる気持ちをしっかりと子供たちに教えながら、気持ちを正しくして生きていた。そんなある日、おかつの家に泥棒が入るが……。山本周五郎原作の小説『かあちゃん』を、市川崑監督が渾身の映画化。市川崑監督と岸惠子が組んだ8本目の作品にして、最後のコンビ作となった。

©TOHO CO., LTD.

『細雪』

(東宝/1983年/140分/カラー/DCP)

監督:市川 崑　原作:谷崎潤一郎『細雪』
出演:岸 惠子、佐久間良子、吉永小百合、古手川祐子、伊丹十三、石坂浩二、桂小米朝、三宅邦子

文豪・谷崎潤一郎の不朽の名作『細雪』を、見事な映像美と繊細な心理描写のもとスクリーン化した、名匠・市川崑監督の真骨頂ともいうべき、文芸大作。昭和13年、大阪。船場の名家である蒔岡家の四姉妹、長女・鶴子(岸惠子)、次女・幸子(佐久間良子)、三女・雪子(吉永小百合)、四女・妙子(古手川祐子)は、恵まれた生活を送りつつも、それぞれの胸に穏やかならざる思いを抱えながら日々を過ごしていた。やがて……。

7月6日(土)

チケット発売日
会員 6月6日(木)
一般 6月7日(金)

	分数	昼の部	夜の部
洲崎パラダイス赤信号	81	11:00–12:21	16:00–17:21
あした来る人	115	12:50–14:45	17:50–19:45

川島雄三×新珠三千代

【川島雄三】

1918年(大正7年)青森に生まれる。1938年(昭和13年)松竹大船撮影所に入社。1944年(昭和19年)『還って来た男』で映画監督デビュー。1955年(昭和30年)日活に移籍し、1957年(昭和32年)後に代表作となる『幕末太陽傳』を発表。その後も1962年(昭和37年)に大映で撮った『雁の寺』『しとやかな獣』など数々の傑作を生み出し続けた。1963年(昭和38年)6月11日永眠。享年45歳。

【新珠三千代】

1930年(昭和5年)奈良に生まれる。戦後、宝塚歌劇団に入団。娘役のトップスターとして活躍していた1951年(昭和26年)、東宝『袴だれ保輔』で映画デビュー。1955年(昭和30年)宝塚を退団後、今回上映の『洲崎パラダイス赤信号』や『人間の条件』など数々のヒット作に出演。後年、テレビドラマでも活躍し『氷点』や『細うで繁盛記』などで人気を博した。2001年(平成13年)3月17日永眠。享年71歳。

©日活

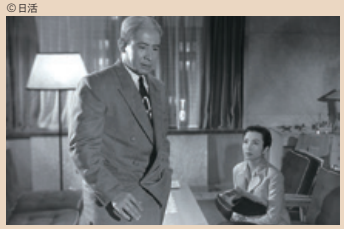
『洲崎パラダイス赤信号』

(日活/1956年/81分/白黒/35mm)

監督:川島雄三　原作:芝木好子『洲崎パラダイス』
出演:新珠三千代、三橋達也、芦川いづみ、轟 夕起子、河津清三郎、牧 真介、植村謙二郎、小澤昭一

まだ戦後が色濃く残る東京。金も希望も無く、途方に暮れて街角に佇む若い二人(三橋達也・新珠三千代)が流れ着いたのは、一夜の儚き恋に賑わう、歓楽街「洲崎」。やがて二人はふらふらと、その「洲崎パラダイス」の手前に店を構える飲み屋『千草』に足を踏み入れて……。川島雄三監督ならではのシャープな映像で見せる川島×新珠コンビの代表作にして、日本映画黄金時代の一大傑作である。

©日活



『あした来る人』

(日活/1955年/115分/白黒/35mm)

監督:川島雄三　原作:井上 靖『あした来る人』
出演:新珠三千代、山村 聰、三橋達也、月丘夢路、三國連太郎、小沢 栄、高原駿雄、金子信雄

実業家として財を成した梶(山村聰)は、無駄な金を使うこともせず、さりとて、家族には過不足ない生活の灯をともし続けてきたという、静かな自信に満ちた人生を送っていた。そんな梶の、ささやかな癒しは、自らが出資して開店させた銀座の洋品店の杏子(新珠三千代)という女性との、ひと時の語らいの時間。それは梶にとって、とても清らかで、邪念の無い逢瀬のはずだった。しかし杏子は……。

太宰治作品をモチーフにした演劇公演 第15回

日本のラジオ
『カケコミウッタエ』

作・演出 屋代秀樹

『カーテン』2017年6月～10月
三鷹市芸術文化センター 星のホール
撮影：ふくしまけんた

「富嶽の会」の代表は、3日たっても戻ってこなかった。
拘置所内で自殺したのだ。
しかし彼の死をきっかけに、会の結束は今まで以上に高まった気がする。
わたしはそれが、とても悔しくてたまらないのだ。
あいつもこいつもそいつもどいつも、彼のことなんかこれっぽっちもわかりやしなかったのに。
わからないことをわかっていたのは、わたしだけだったのに。

太宰治の『駈込み訴え』をモチーフに、恋と恋と恋にまつわる短いお話。

『ツヤマジケン』
2018年6月 / こまばアゴラ劇場
撮影：ふくしまけんた

出演 安東信助、沈 ゆうこ、田中 渚（以上、日本のラジオ）、
岡野康弘（Mrs.fictions）、
辻 響平（かわいいコンビニ店員飯田さん）、豊田可奈子、
フジタタイセイ（劇団肋骨蜜柑同好会）、坊薗初菜、
宝保里実（コンプソンズ）、横手慎太郎（シンクロ少女）

【劇団プロフィール】

読み方は「にほんのらじお」。
劇団キャッチコピーは「さわやかな惨劇」。
2006年に代表の屋代秀樹が自作の戯曲を上演するために旗揚げ。本公演以外ではコメディやシュールコントも手掛ける。

HP | http://razio.jp
Twitter | @nihonnorazio

5月25日（土）～6月2日（日） 全11公演

チケット発売日 会員4月18日（木）/ 一般4月19日（金）

	5/25（土）	26（日）	27（月）	28（火）	29（水）	30（木）	31（金）	6/1（土）	2（日）
14:00	★【託】	★	休館日		☆			●	●
19:00	★【託】	★						●	
20:00				●		●	●		

＊上演時間は1時間30分を予定しております。途中休憩はございません。
★…早期観劇割引　☆…平日昼公演割引　【託】…託児あり

全席自由（日時指定・整理番号付）　託児あり ＊5/25（土）のみ

【会員】前売2,500円・当日2,700円
【一般】前売2,800円・当日3,000円
【学生】1,500円（前売・当日とも）　【高校生以下】1,000円（前売・当日とも）
★早期観劇割引・☆平日昼公演割引は、各300円引き　＊未就学児は入場できません。

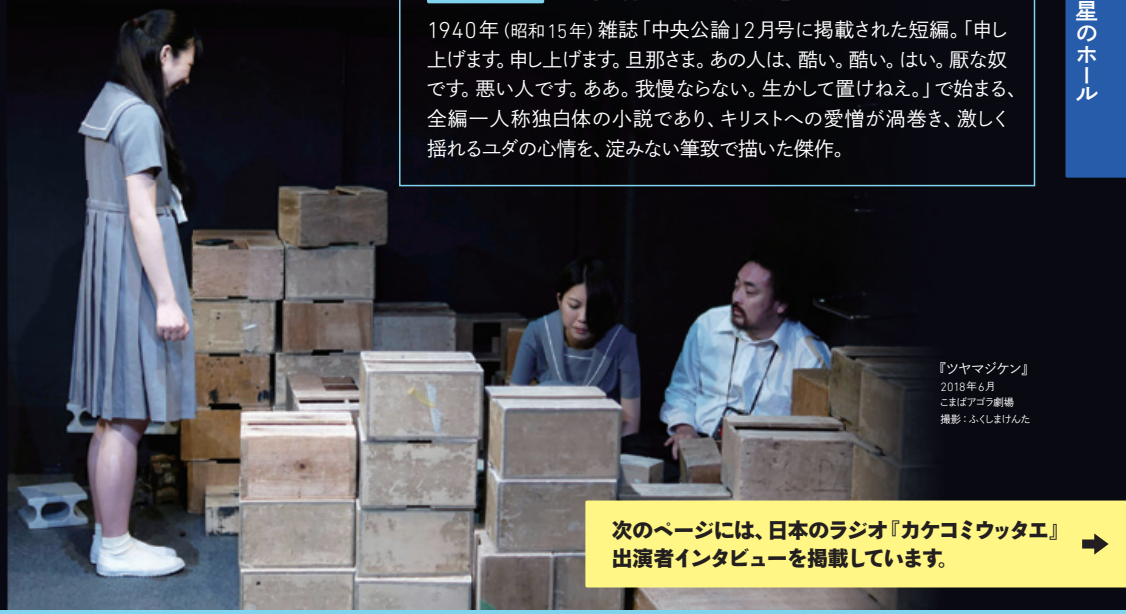
『ボディ』2017年3月 / シアターシャイン
撮影：ふくしまけんた

今回の公演に寄せて、屋代秀樹さんからのメッセージ

太宰と同郷の作家、葛西善蔵が好きなので、最初は太宰の『善蔵を思う』という小説を題材にと思っていたのですが、まあマイナー作品なので、結局作品として一番好きなのを基に作ることにしました。葛西は私小説の極北として、くだらない人生をそのまま小説にしたような人でしたが、太宰の小説は、なんだかわざとらしく嘘くさくしてる気がします。太宰はほんとうのことなんか、絶対そのまま言いたくなかったんだろうなって思います。

モチーフ作品 太宰 治『駈込み訴え』

1940年（昭和15年）雑誌「中央公論」2月号に掲載された短編。「申し上げます。申し上げます。旦那さま。あの人は、酷い。酷い。はい。厭な奴です。悪い人です。ああ。我慢ならない。生かして置けねえ。」で始まる、全編一人称独白体の小説であり、キリストへの愛憎が渦巻き、激しく揺れるユダの心情を、淀みない筆致で描いた傑作。



『ツヤマジケン』
2018年6月
こまばアゴラ劇場
撮影：ふくしまけんた

次のページには、日本のラジオ『カケコミウッタエ』出演者インタビューを掲載しています。

《インタビュー》

日本のラジオ

**鋭いまでのセリフの角度と際立つオリジナリティ、
そして、緊張感に満ちた演出により、
今、演劇界で注目を集めている、劇団「日本のラジオ」。
一昨年秋のMITAKA “Next” Selecton以来の三鷹公演を前に、
作・演出の屋代秀樹さんと、出演の安東信助さん、
沈ゆうこさんに、お話を伺いました。**

**太宰治の初期の傑作である『駈込み訴え』という“一人称独白体”の小説を、
現代における群像劇に仕立て上げたいと思います。
特に、原作に沿って「それぞれの登場人物が、イエス・キリストをどう捉えていたか」を
描きながら、太宰と太宰の周囲の人々の人間模様や、
宗教や組織にまつわる問題を、自分なりに形にしていけたらと思っています。**

今回、太宰治作品の中で『駈込み訴え』をモチーフに選ばれましたね。

屋代　当初は『善蔵を思う』(昭和15年)をモチーフ作品にしようと思っていました。太宰と同じ青森出身の作家「葛西善蔵」(明治20年1月16日～昭和3年7月23日)の小説が私は好きで、その葛西の名前が題名になっている作品であったことが、取り上げようと思った主な要因だったのですが、太宰の作品の中では少しマイナーですし、小説の中身も、葛西善蔵が主人公の小説ということでもありませんので、再考しまして、『駈込み訴え』(昭和15年)をモチーフ作品にすることにしました。かなり私小説寄りの、読み進めていけばいくほどに太宰本人をイメージさせる『道化の華』(昭和10年)や『ダス・ゲマイネ』(昭和10年)などもモチーフ作品の候補として考えたのですが、結局は太宰治作品の中で私が一番好きな小説にしようと思い、それが『駈込み訴え』だったわけです。

『駈込み訴え』という作品の、どういったところに魅力を感じていらっしゃいますか？

屋代　とにかく、徹頭徹尾、愛の話だなと。先日、久しぶりに読み返してみたのですが、初めて読んだ高校生の頃と同じように、泣きました。

『駈込み訴え』の、どのあたりで涙腺が弱くなるのですか？

安東信助

屋代　突然「一緒に暮らそう」と言い出すあたりですね。昔も、そこで泣いた記憶があります。今回もしっかり泣きました。

安東　あそこかあ。「桃の畠もある。私の家族もいる。」とか言うところだよね。

屋代　急に提案したものの、「ほかにも人がいるから」とか言われて、普通に拒否されているんですよ。いやあ、泣けるんですよねえ。

安東さんと沈さんも『駈込み訴え』を読まれたそうですが、作品の感想はいかがですか？

沈　一人語りの文章なんですけど、感情が忙しい人だなあと。文字数に比べて、情報量がものすごいし、気持ちの揺れ幅が大きい大きい。でも、とても面白かったですね。

安東　実にまあ、一筆書きのように淀みなく連なっている文章だなあと。

口述筆記による小説で、一説には、一度も詰まることなく言い立てたという話があります。

屋代　そういうのは本当かどうかわからないですけど、ただ、文章の技術はすごいなと思います。特に、熱意のようなものを、読者に感じさせる技術に関しては相当なものだなと。そういう点では、『人間失格』なども同じなんですね。作家の技術が、読者に高熱を帯びさせるというか。太宰治の小説家としての特長だと思うんです。

屋代秀樹

どのような作品になりそうですか？

屋代　『駈込み訴え』という“一人称独白体”の小説を、現代における群像劇に仕立て上げていきたいと思います。特に、小説内で名前が出てくる人たちが「それぞれ、イエス・キリストを、どう捉えていたか」を描いていきながら、太宰と太宰の周囲の人々の人間模様や、宗教や組織にまつわる問題を、自分なりに形にしていけたらと思っています。

作品作りの際に、大事にしていらっしゃることはありますか？

屋代　すべての登場人物の生き方に、必ず責任を持たせて書きたいと思っています。ストーリーを成立させるためだけに都合よく登場するような人物を書かない、すなわち、その作品を成立させるための奴隷のような人物を設定しないということで、それだけは肝に命じて作品を作っています。

それでは、お客様へのメッセージをお願いします。

安東　屋代さんの脚本は、毎回、僕自身にいろいろな挑戦をさせてくれるので、今回も、また新たなチャレンジを楽しみにして、作品に向き合っていきたいと思っています。

沈 ゆうこ

沈　「稽古場が楽しくて、演じている役者たちが楽しいと感じている作品は、お客様にとっても楽しい舞台である」というのが私のモットーなので、それを目指して、お客様に楽しんでもらえるよう、頑張ります。

屋代　今回、せっかく「太宰治作品をモチーフにした演劇公演」を依頼されたわけですから、文学部卒の“元・文学オタク”としての意地をみせたいなと思います。お客様の中にも、太宰の小説に対して思い入れのある方が多いと思うので、“元・文学オタク”が、太宰の小説をどう舞台化するか見届けてほしいなと思いますし、小説は読むけれど、演劇はあまり観ないという人の心を鷲掴みするような、作家としての意地をみせたいと思っています。ぜひご覧ください。

インタビュアー　森元隆樹（当財団　演劇企画員）
12月5日　三鷹市芸術文化センターにてインタビュー

ここで紹介しきれなかったインタビューの全文は、財団HPに掲載しています。

公演情報

太宰治作品をモチーフにした演劇公演 第15回

日本のラジオ『カケコミウッタエ』

5月25日(土)～6月2日(日) 全11公演

作・演出　屋代秀樹

出演　安東信助、沈 ゆうこ、田中 渚（以上、日本のラジオ）ほか

活きの良さなら、若手筆頭！
爆笑の宮治、ここにあり！

かつら みやじ

桂宮治 独演会

高座に上がったその瞬間から、お客様の心を鷲掴み！
ちょいと浮かない梅雨空さえも、宮治落語が吹き飛ばす！
活きの良さなら、若手随一！ 天高く舞い上がる、爆笑の渦！
落語界の次世代を担う桂宮治の落語を、ぜひ、お楽しみください！

6月9日（日） 14:00開演

チケット発売日 会員4月14日（日）/ 一般4月18日（木）

全席指定 託児あり ＊未就学児は入場できません。

会員2,250円 / 一般2,500円 / 学生1,500円 / 高校生以下1,000円

独演会に寄せて 桂 宮治

師匠である桂伸治に入門願いに行った時、何度も断られました。
年齢が30歳を越えていた事、結婚して妻がいた事、落語を初めて聞いてから半年しか経っていない事…
断られる理由は沢山ありました。それでも、落語に出会えた事、師匠伸治の高座に出会えた事、その思いを何度も伝えに行きました。師匠には妻を連れてくるように言われました。『噺家なんて一生貧乏だよ。それでも構わないかい？』『はい、よろしくお願いします。』妻の返事で入門が決まりました。あれから11年… 星のホールさんで独演会が出来るようになりました。まだまだそんな器では御座いませんが、お客様に楽しんでもらえるように、必死に務めさせて頂きます。
若手時代、今しか出来ない全力投球を見に来てください。ご来場心よりお待ちしております。

やなぎや さんきょう

柳家さん喬 独演会

柔らかく、そして、力強い、まさに柳のごとくしなやかな語り口。
幾重にも笑いが連なる滑稽噺から、いつしか涙を誘う人情噺まで、
柳家さん喬師匠の円熟の落語を、今回もたっぷりとお楽しみください。

6月22日（土） 昼の部14:00 / 夜の部18:00 開演

チケット発売日 会員4月20日（土）/ 一般4月25日（木）

全席指定 託児あり ＊未就学児は入場できません。

各回 会員2,700円 / 一般3,000円 / 学生2,000円 / 高校生以下1,000円

＊昼の部と夜の部は別の演目です。

笑って泣いて、寄席の華
四熊の語り、柳家さん喬

撮影：山田雅子

番組
落語 柳家小ごと
落語 昼 柳家やなぎ
落語 夜 柳家小んぶ
落語 柳家さん喬
ミュージック ストレート松浦 ゆず入り
落語 柳家さん喬
お囃子 囃田まい社中

独演会に寄せて 柳家さん喬

私がこの星のホールで独演会をやらせて頂く様になって今回で20回になります、その間に一門会などもやらせて頂いたり、他の落語会にも出させて頂いた。お客様に後押しされて、能力以上の物を引き出させて頂いている事を強く感じます。大笑いしてくださらなくても、どなたも自分の世界で遊び、楽しんでくださっている、と時々感じます。

そんな時に思う事は、師匠（五代目柳家小さん）が教えてくれた「客とは何時も五分五分だ」の一言です。五分五分だからこそ、同じ世界を創ることが出来るのではないかと思います。

粋に聴かせる、語り鮮やか
江戸にいざなう、古今亭菊之丞

ここんてい きくのじょう

古今亭菊之丞 独演会

まるで“江戸の町から抜け出した若旦那”のごとき様子の良さと、
軸のぶれない語り口で、聴く者を江戸の町へといざなう、古今亭菊之丞。
暑さが盛りの夏の一日、菊之丞落語で“ひとときの涼”。お待ちしております。

7月21日（日） 14:00開演

チケット発売日 会員4月14日（日）/ 一般4月18日（木）

全席指定 託児あり ＊未就学児は入場できません。

会員2,700円 / 一般3,000円 / 学生2,000円 / 高校生以下1,000円

番組
落語 古今亭まめ菊
落語 春風亭一蔵
落語 古今亭菊之丞
浪曲 国本はる乃 ゆず入り
落語 古今亭菊之丞
お囃子 金山はる社中

独演会に寄せて 古今亭菊之丞

今回でちょうど10回目を数える星のホールでの「古今亭菊之丞独演会」。
今回のゲストは、初めて「浪曲」をお招きします。
国本はる乃さん。初めて浅草の木馬亭でこの方の浪曲を聞いた時にシビれました。
声量といい節回しといい、高座の華やかさといい。心がスキッとします。
春風亭一蔵さんも、柄に反して（笑） 愛嬌のある高座はイチオシ。
ぜひご堪能くださいませ。

毎回必ず独演会

寄席井心亭

座布団百枚のお座敷で聴く、生声での落語が魅力の寄席井心亭。
ご贔屓の方も、初めてという方も、ぜひ足をお運びくださいませ。

やなぎや きょうたろう

柳家喬太郎

数えて二百九十夜 水無月

6月26日（水） 19:00開演

チケット発売日 会員4月16日（火）/ 一般4月17日（水）

お1人様 2枚まで 同一のお客様が2枚までのご購入は可能ですが、3枚以上は購入できませんのでご了承ください。

たてかわ しらく

立川志らく

数えて二百九十一夜 神無月

10月23日（水） 19:00開演

チケット発売日 会員4月23日（火）/ 一般4月24日（水）

予約1回 4枚まで 発売日初日に限り、1回のお電話（またはインターネット）でのご購入は4枚までです。5枚以上をご希望の場合は、再度ご予約が必要ですのでご了承ください。

会場 みたか井心亭 三鷹市下連雀2-10-48 ＊JR三鷹駅南口より徒歩15分。

全席座布団自由 各回 会員1,800円 / 一般2,000円 / 学生1,000円 ＊未就学児は入場できません。

＊寄席井心亭では電話とインターネット（パソコン・携帯）での発売枚数の割合を50%ずつとさせていただきます。

予告
次号『MARCL+147』にて
（2019年5月下旬発行）
発売予定の主な落語公演

●柳家喬太郎みたか勉強会	8月10日（土） 14:00/18:00	芸術文化センター 星のホール
●立川志らく独演会	9月21日（土） 14:00	芸術文化センター 星のホール
●桃月庵白酒独演会	9月22日（日） 14:00	芸術文化センター 星のホール
●柳家権太楼独演会	9月29日（日） 14:00	芸術文化センター 星のホール ほか

三鷹の こども寄席

ぼくも、わたしも、寄席で大笑い！柳家花緑さんの落語で大笑いするのだ!!

その20

お子さん、お孫さんと一緒に、
寄席にいらっしゃいませんか？
今年は、大爆笑の連続の柳家花緑さんの落語に、
子どもたち大喜びの
「動物ものまね」江戸家小猫さんも登場！
お子さん、お孫さんに、生の寄席の魅力を、
たっぷり楽しんでもらってください！

【柳家花緑さんからのメッセージ】

さぁ！みんな！
今回は、私、柳家花緑の親子寄席！
落語ってね、大人の世界なんだよ。
今回はそんな、これからみんなが
体験する大人の世界を先にのぞいてみよう！
落語と動物のモノマネで
楽しい時間を過ごしてね！待ってるよ！

ウグイス、カエル、
秋の虫はもちろん、
テナガザル、アルパカ、ヌーなど
鳴き声を知られていない動物も
たくさん披露してくれます!!

7月7日（日）

チケット発売日 会員4月11日（木）/ 一般4月12日（金）

未就学児の回 11:00開演（約1時間・休憩なし）

全席指定 会員900円 / 一般1,000円
小・中学生500円 / 未就学児無料

0歳～入場可 ＊ロビーに、おむつ替えのコーナーもございます。

小学生以上の回 14:00開演（約2時間・休憩あり）

全席指定 託児あり ＊未就学児は入場できません。
会員1,800円 / 一般2,000円 / 小・中学生1,000円

出演 柳家花緑（落語）、江戸家小猫（動物ものまね）ほか

昨年のこども寄席のアンケートの感想より

未就学児の回（こども）

- ほんとうにたべてるみたいで おなかすいた（4才・女子）
- おはなしが おもしろかった（女子）
- たべたところが おもしろかった（5才・男子）

未就学児の回（おとな）

- 1時間でも、めりはりのある流れを考えていただいていて、4才もあきずにずっと楽しめました。私も楽しかったです。（女性）
- おやこで一緒に楽しめました。（40代・男性）
- 時間を忘れて子どもと大笑いしました。落語にはイマジネーションが必要という話にすごく共感しました。（30代・女性）

小学生以上の回（こども）

- おもしろかった。なにかを“する音”を家で、練習したい。（小5・女子）
- 口がいたくなるくらい おもしろかった（小1・男子）
- せんすとてぬぐいで色々なげいができてすごいと思いました。（小4・女子）

小学生以上の回（おとな）

- 子どもの気をそらさない語り口に親子ともにひきこまれました。また落語をききにうかがいます。（女性）
- 会場の子どもをまき込んだ落語で、子どもとても楽しめて、よかった（女性）
- テレビではなく、実物を目にすると雰囲気が良く伝わり、とても面白かった（男性）

関連プログラム

“未就学児の回”の案内係の小学生募集!!

みんなで一緒に、お客さまをお迎えしよう！

落語会で、実際にお客さまのチケットをもぎったり、
パンフレットを渡したり、お席まで案内するお仕事を体験してみませんか？
そんなに難しく考えたり、緊張しなくても大丈夫です。私たちと一緒に、楽しくお迎えして、
最後に大きな声で「ありがとうございました!」とごあいさつしましょう!!

写真は昨年の案内係の模様です

7月7日（日）9:30 星のホール集合（12:30終了予定）
対象：小学校4～6年生　定員：10人　参加費：無料
＊応募多数の場合は抽選となります。

【主な体験内容】

- ★チケットの引き換え
- ★当日券の販売
- ★入口でチケットもぎり
- ★パンフレットのお渡し
- ★客席へのご案内
- ★クローク係
- ★開演前に注意事項の説明
- ★終演後のアンケートの回収

ほか

【申込方法】 往復はがき申込
往復はがきに
①催し物名「こども寄席案内係」
②住所
③お子様の名前（フリガナ）、性別、学年
＊兄弟で申込の場合は、1通のはがきに、全員分お書きください。
④保護者の氏名（フリガナ）と電話番号
⑤保護者の方がマークル会員の場合は会員番号
＊返信の表面にもご住所とお名前をお書きください。
＊お友達同士でのお申し込みは、別々のはがきでお申し込みください。

【宛先】 〒181-0012 三鷹市上連雀6-12-14
三鷹市芸術文化センター「こども寄席案内係」宛

【締切】 6月11日（火）消印有効
＊抽選結果のはがきは、6月18日（火）に投函します。

【ご注意】終演時間まで、いろいろなお仕事を体験していただくため、参加者は11:00からの公演を、客席で観ることはできません。
＊お仕事中の写真やビデオ撮影はご遠慮ください。財団で撮影した写真と映像を、後日プレゼントいたします。

昨年参加してくれた、お友達の感想

- チケットをもぎって、わたしてあげたら笑顔で、“ありがとう”といってもらってうれしかった。（小5・女子）
- ペアの子と仲良くなったり、協力したり、お姉さんたちがたすけてくれたり、とてもやりやすかった。（小4・女子）

ウィーン＆ベルリン、世界最高峰オーケストラのトップ奏者たちが豪華共演!!

ウィーン＝ベルリン　ブラス・クインテット

9月16日（月・祝）15:00開演

チケット発売日 会員4月9日（火）/ 一般4月16日（火）

全席指定
会員S席4,500円・A席3,600円
一般S席5,000円・A席4,000円
U-23（23歳以下/A席限定）3,000円

託児あり ＊未就学児は入場できません。

出演 トランペット/ガボール・タルケヴィ
ギヨーム・ジェル（以上、ベルリン・フィル首席）
ホルン/トーマス・イェプストル（ウィーン・フィル）
トロンボーン/マーク・ガール（ウィーン・フィル）
テューバ/アレクサンダー・フォン・プットカマー（ベルリン・フィル）

♪曲目 J.S. バッハ：プレリュードとフーガ
ハイドン：オラトリオ『天地創造』より
第2部「大いなる御業は成就し」
ブルックナー：前奏曲とフーガ ニ短調
ドビュッシー：4つのプレリュード 前奏曲集より
エヴァルド：金管五重奏曲 第2番 Op.6
ミュールバッハー：ファンファーレ
クーツィール：子どものサーカス Op.79
クライスラー：ウィーン風小行進曲
ピアソラ：天使のミロンガ / リベルタンゴ
ホロヴィッツ：ミュージック・ホール組曲 ほか

＊曲目は変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

2019年9月、風のホールではウィーン・フィルとウィーン響、ベルリン・フィルの管楽器の名手たちによる金管アンサンブル、木管アンサンブルをお楽しみいただきます。

トップを飾る「ウィーン＝ベルリン　ブラス・クインテット」は今回が初登場。"ベルリン・フィルのブラス・セクションの重鎮"ガボール・タルケヴィ率いるこのアンサンブルは、ベルリン・フィル首席トランペット奏者2人と低音の要を務めるテューバ奏者に加え、ウィーン・フィル伝統の響きを支える名手2人が、オーケストラの垣根を越えて集結しています。煌びやかで美しく、うっとりするほどまろやかな響きは絶品。演奏される五重奏の定番曲、最新曲、クラシックの名曲から成る多彩なプログラムも魅力。名手たちそれぞれのソロにもご注目。極上のアンサンブルにご期待ください。

出演 カール＝ハインツ・シュッツ（フルート/ウィーン・フィル首席）
ジョナサン・ケリー（オーボエ/ベルリン・フィル首席）
アンドレアス・オッテンザマー（クラリネット/ベルリン・フィル首席）
リヒャルト・ガラー（ファゴット/ウィーン響首席）
シュテファン・ドール（ホルン/ベルリン・フィル首席）

ウィーンとベルリンの主要オーケストラ首席奏者が集う、世界トップクラスの木管五重奏団

アンサンブル・ウィーン＝ベルリン

©青柳 聡

9月29日（日）15:00開演

チケット発売日 会員4月9日（火）/ 一般4月16日（火）

全席指定
会員S席5,400円・A席4,500円
一般S席6,000円・A席5,000円
U-23（23歳以下/A席限定）4,000円

託児あり ＊未就学児は入場できません。

♪曲目
イベール：3つの小品
トマジ：世俗と神聖な5つの踊り
タファネル：木管五重奏曲ト短調
クルークハルト：木管五重奏曲Op.79
ベートーヴェン：弦楽五重奏曲Op.4（木管五重奏版）

＊曲目は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

2015年、17年に引き続き3度目の登場となるウィーン＆ベルリンのスーパースターたちによる木管五重奏をお楽しみいただきます。前回の日本ツアーでは、奏者が代わる代わるナレーションを行い演奏するベリオの「オーパス・ナンバー・ズー」を日本語で上演というサプライズもありました。風のホールでの上演時には、メンバーの中で三鷹への登場回数が最も多いオッテンザマーの発案で、「東京のど真ん中」という台詞が「三鷹の…」に変えられました。アンサンブル・ウィーン＝ベルリン（EWB）の卓越した演奏テクニック、そしてコミカルかつ迫真のジェスチャー(!?)に、お客様の視線が釘付けになったのは言うまでもありません。

今回のプログラムは、前半には木管愛好家にはたまらないであろう"管の国"フランスの近現代の作品が、後半にはドイツ、オーストリアの音楽からベートーヴェンの弦楽五重奏曲の編曲版、19世紀後半に活躍したクルークハルトの作品が選ばれています。

彼らの磨き抜かれた音色とニュアンスの豊かさ、息のあったアンサンブルで木管五重奏の粋をお楽しみいただけることでしょう。スタイリッシュなセンスと安定感抜群のチームワーク、エンターテイメント性の3拍子が揃った奇跡の木管アンサンブル、EWBの演奏にご期待ください。

ブルガリア・日本「3つの周年」記念事業　後援：駐日ブルガリア共和国大使館

ブルガリアン・ヴォイス　アンジェリーテ

時を超え、大地を揺るがす奇跡の歌声

9月28日（土）15:00開演

チケット発売日　会員4月10日（水）/ 一般4月17日（水）

全席指定　託児あり　＊未就学児は入場できません。

会員4,500円 / 一般5,000円 / U-23（23歳以下）3,500円

♪曲目　**夢見るトドラ** Polegnala e Todora
太鼓を叩く Tapan Bie
森が葉を落とす時 Listni se goro
メフメティオ Mehmetio　ほか

＊曲目は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

2019 BULGARIA - JAPAN TRIPLE ANNIVERSARY

ブルガリアン・ヴォイスは、元々は農作業の合間に女性たちが集まって合唱したのが始まりとされています。後にブルガリアの作曲家、クーテフらが古い民謡を収集し現代的に編曲、伝統を継承した斬新なコーラスワークを確立させました。地声で歌う独特の和声と複雑なリズムが絡み合う合唱スタイルは、アニメーション『攻殻機動隊』の音楽ほかで知られる菅野よう子、リオ・デ・ジャネイロ・オリンピック閉会式において、「君が代」をブルガリアン・ヴォイスのアレンジで披露した、三宅純をはじめとする内外の名だたるサウンド・クリエーターを刺激し、その創作にインスピレーションを与えています。

今回は、「地球上でもっとも美しい音楽」（アメリカ合衆国セントルイス・ポスト・ディスパッチ紙）と称賛されたブルガリアン・ポリフォニーの最高峰、「アンジェリーテ」が三鷹に初登場。80年代後半に彗星のごとく世界的ブームとなり、90年代にはノーベル平和賞授賞式、モスクワ赤の広場等、数々の伝説的コンサートを行い、グラミー賞にもノミネート。

絞り出すような喉声が幾層にも折り重なって生まれる不協和音は、素朴で牧歌的に聞こえることもあれば、ある時は宇宙的で、エレクトロニック・ミュージックとの親和性すら感じさせるように聞こえることも。神秘的で幻想的な独特の質感も魅力です。

ブルガリア全土から集まった約20名の精鋭による、緻密で繊細、万華鏡のように色彩豊かなヴォーカル・アンサンブル。ぜひ、体感してください！

＊2019年は、日本とブルガリアの「交流開始110周年」、「外交関係樹立80周年」および「外交関係再開60周年」の「3つの周年」が重なる年となります。この記念の年に日本とブルガリアとの間で各種交流事業が実施され、両国関係が更に発展する契機となることが期待されます。

三鷹公演特別企画

作曲家・光田康典とのコラボレーションが実現！

ブルガリアン・ヴォイスの大ファンでもあり、自身の作品にも本場のブルガリアン・ヴォイス・グループを起用している作曲家、光田康典の楽曲をアンジェリーテが歌います。光田氏が本公演用に、自身が手掛けた人気ゲーム作品『ゼノギアス』の劇中歌「最先と最後」（いやさきといやはて）ほか数曲を特別にブルガリアン・ヴォイス・アレンジで編曲。さらにステージにも登壇し、ブルガリアン・ヴォイスの魅力について語ります。

作曲・編曲・トーク：光田康典　演奏：アンジェリーテ　予定演奏曲目：最先と最後（『ゼノギアス』サウンドトラックより）ほか

吉井瑞穂（オーボエ）& 鈴木大介（ギター）

オーボエとギター　二人の名手が奏でる　心に響く、心を潤す極上のハーモニー

©Satoko Imazu

10月12日（土）15:00開演　託児あり　＊未就学児は入場できません。

チケット発売日　会員4月10日（水）/ 一般4月17日（水）

全席指定　会員3,600円 / 一般4,000円 / U-23（23歳以下）& O-70（70歳以上）2,500円

♪曲目　**ヴィヴァルディ：ソナタ ハ長調 RV48　スカルラッティ：ソナタ ホ長調 K.380　コスト：山人の歌 Op34より**
フォーレ：シシリエンヌ　マルティン：ハバナ組曲　ラヴェル：ハバネラ形式の小品
プホール：ポンペーヤ（ブエノスアイレス組曲より）　**ピアソラ**（モンテス編）**：リベルタンゴ**

＊掲載の曲目は、当日の演奏順とは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

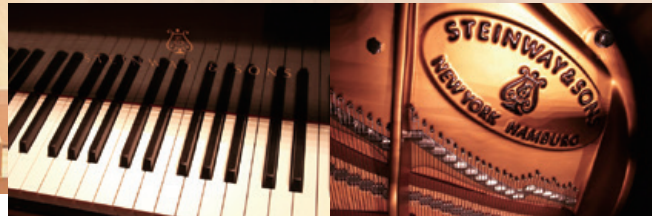
アバド、ヴァント、アーノンクール、ブーレーズ、ラトル、ハーディングら世界的な指揮者のもとで演奏を重ね、マーラー・チェンバー・オーケストラ（MCO）の首席奏者、ソリストとしても活躍するオーボエ奏者、吉井瑞穂が風のホールに初登場。オーボエは「声の楽器」とも言われますが、彼女の音は、自身の声に似た温かさと、柔らかでまろやかな響きを持ち合わせているのも魅力。そして、共演者や聴衆とともに音楽を楽しみわかちあいたいという喜びが溢れる演奏は、常に世界の聴衆を魅了しています。

一方の鈴木大介は、風のホールへの登場が今回6度目を数えるお馴染みのアーティストの一人。クラシックギターのレパートリーはもちろん、ジャズ、ボサノヴァ、映画音楽などジャンルの境界を感じさせない選曲の幅広さ、ギターの楽譜のない作品は自ら編曲を行うなどの徹底したこだわり、そして繊細な質感を湛えた音と確かなテクニックで爪弾かれる自由闊達な演奏は、ファンの心を鷲掴みにしています。二人は、吉井が地元の鎌倉でプロデュースする音楽祭『レゾナンス〈鎌倉のひびき〉コンサート・シリーズ』をはじめ、さまざまな公演で共演を重ねており、息もぴったりです。

今回三鷹で演奏されるのは、イタリアのバロック音楽からフランス、アルゼンチンで生まれた舞曲ベースのエキゾチックな雰囲気漂う作品にいたるまで、バラエティに富む贅沢なプログラム。オーボエとギター、名手二人が織りなす心温まるサウンドをお楽しみください。

コンサート・グランドピアノと
625席の風のホールを貸し切り

風のホールで ピアノを弾こう! スタインウェイ編



「ホールで心ゆくまでピアノを弾いてみたい!」そんな夢が叶います。
音響性能を重視し、音色を豊かに響かせる『風のホール』で素敵なひとときを。

5月21日(火)・24日(金) **参加費** 1時間 2,000円 *追加1人につき500円(追加は5人まで)

利用時間 *利用時間は準備と片付けを含めた時間です。終了時間5分前にお声がけいたします。

5/21(火) ①10:00–11:00 ②11:00–12:00 ③13:00–14:00 ④14:00–15:00 ⑤15:00–16:00

5/24(金) ⑥14:00–15:00 ⑦15:00–16:00 ⑧16:00–17:00 ⑨17:00–18:00 ⑩18:00–19:00

申込方法

往復はがき または FAX(0422-47-6700)にて 往復はがき申込
「三鷹市芸術文化センター ピアノを弾こう! 係」宛に以下の内容をお送りください。

1. 住所　2. 氏名(ふりがな)　3. 電話番号・FAX番号(FAXでお申し込みの方にはFAXで返信します。*)
*FAX受信後、一週間以内に受付確認のFAXをお送りします。連絡がない場合は、お問い合わせください。
4. ご希望の日と利用時間 *第3希望まで。いずれの時間でも可能な方はその旨をお書きください。
5. 利用予定人数 *ご本人さま含めて6人まで可。追加料金が必要です。
6. 往復はがきの方は、返信用はがき宛先(住所・氏名)をご記入のうえ、
〒181-0012 三鷹市上連雀6-12-14 三鷹市芸術文化センター ピアノを弾こう! 係宛にお送りください。

申込締切 4月25日(木)必着 *申込多数の場合は抽選になります。
調整結果は、はがき または FAXで5月2日(木・休)までにご連絡します。
抽選結果にかかわらず全員にご連絡しますので、連絡がない場合は、お問い合わせください。

ご利用について

- ピアノの練習でご利用ください。
- ご利用人数は同時に6人まで、交替での演奏や他の楽器との合奏も可能ですが、舞台上で演奏をされる方は追加料金が必要です。小学生以下の方のご利用は、保護者の付き添いが必要です。*付き添いの方は無料
- ご利用当日は早めに来館し、1階チケット・カウンターで参加費をお支払いになり、風のホールロビーでお待ちください。利用時間5分前にスタッフがご案内いたします。
- 使用前の調律やピアノの移動、ピアノの弦を直接弾いたり、弦と弦の間に物を詰めるなどの特殊奏法はできません。
- 背無しピアノ椅子1脚・背付きピアノ椅子2脚・ピアノの補助ペダル・演奏者用椅子5脚・譜面台5台を舞台上にご用意しております。その他音響設備は使用できません。備品の準備と片付けは、利用時間内にお客さまでお願いします。
- 撮影目的でのお申し込みはご遠慮ください。　•ホール搬入口はご利用できませんので、地下駐車場(有料)をご利用ください。
- ホール内での飲食はご遠慮ください。　•ご当選後、参加日の1週間前からのキャンセルは、2,000円のキャンセル料をいただきます。

企画展示

太宰治と今官一 ～郷里から三鷹へ～

6月23日(日)まで開催中　観覧無料

写真提供:日本近代文学館/撮影:伊馬春部/昭和22年

太宰治と同年・同郷で、絶大な信頼を得ていた直木賞作家・今官一(こん かん いち)。昭和17(1942)年12月、太宰の勧めで三鷹町上連雀字山中南(現上連雀8丁目)に移り住み、昭和40年3月までをここで過ごしています。昭和23年6月13日に太宰が玉川上水に入水し、毎年太宰の生誕日に営まれた「桜桃忌」の命名者が今であることは広く知られるところです。

本展では、唯一無二の同郷作家である太宰と今が、この三鷹の地で切磋琢磨の功を積み、虚飾なき互いの文学を高めあったその交流にふれるとともに、太宰の死後、今が発表したエッセイなどから、太宰文学の正当な評価を求めるべく一貫した今の姿勢と、三鷹ゆかりの作家としての一面をご紹介します。

太宰治作品朗読会

各回18:00開演(18:50終演予定)　【定員】各回25人　参加費無料

第108回 4月19日(金)

出演 御手洗 徹
(みたか観光ガイド協会会員、太宰治文学サロンガイドボランティア)

朗読作品「畜犬談」

太宰治が三鷹に転居してすぐに発表された、甲府時代のユーモアにあふれる作品です。長年、市民が読む太宰治作品朗読会に出演し、林芙美子記念館での朗読交流会などで本領を発揮する御手洗徹さんの語りでご堪能ください。

第109回 5月17日(金)

出演 林田一高
(文学座所属俳優)

朗読作品「富嶽百景」「黄金風景」

提供:文学座

さまざまな役柄を演じながら朗読の世界に活躍の場を広げている林田一高さんの朗読です。すがすがしい新緑の季節に、太宰文学の人気作「富嶽百景」と、同時代に書かれた「黄金風景」をお楽しみください。

申込締切 第108回 4月9日(火)必着 / 第109回 5月9日(木)必着　往復はがき申込

申込方法 往復はがきに、①ご希望の回、②参加者氏名(2名様まで)、③代表者の住所・電話番号、④返信用はがきに宛先をご記入の上、当サロン「第○○回朗読会係」宛にお送りください。
*申込は各回につき、お1人様1通のみ　*応募者多数の場合は抽選

会場

●太宰治文学サロン
〒181-0013 三鷹市下連雀3-16-14 グランジャルダン三鷹1階　Tel:0422-26-9150　入館無料
開館時間:10:00–17:30　休館日:月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌日・翌々日が休館)

山本有三（応接間にて）

企画展 女人哀詞の時代

9月1日（日）まで開催中

休館日：月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌日・翌々日が休館）

山本有三の「女人哀詞」（昭和5年）は、〈唐人お吉〉として知られる幕末の悲劇の芸者、お吉を主人公とした長編戯曲であり、二十年来のお吉研究者である「下田なる村松春水翁」に捧げられています。初代アメリカ総領事タウンゼント・ハリスの妾として周囲から蔑まれた女性の悲劇を描いた本作は、歴史に材を取った作品を多く執筆した有三ならではの作品ですが、本作を執筆した時期、十一谷義三郎「唐人お吉―らしやめん創生記―」（昭和3年）を皮切りに、田中総一郎、真山青果といった作家たちによって「お吉」を題材とした作品が相次いで発表される「お吉熱」とも言うべき流行が起こっていました。それらの作品のなかでは、「発表の時期こそ遅れたけれど、これはこれで相当に存在の理由がある」と、有三は自信をうかがわせています。

本展では、「お吉熱」の巻き起こる時代の中で、有三が描いたお吉の物語の「存在理由」がどのようなものであったかを、「女人哀詞」の初版本や原稿、舞台写真などの多彩な資料から探ります。

「女人哀詞」原稿

『女人哀詞』（昭和6年）四六書院　装幀：川端龍子

おはなし会

おとぎ話に出てくるような洋館のなかで、おはなしを聴く楽しいひと時を過ごしませんか。

4月13日（土）14:00–14:30 会場 **三鷹市山本有三記念館 1階展示室B**

【参加費】無料

＊未就学のお子様は、保護者同伴でお越しください。＊同伴の保護者様は、入館料（300円）が必要です。

【対象】未就学児から小学1年生程度　【参加方法】当日、会場へお越しください。

話し手 **おはなしあずきの会**（三鷹市立図書館を中心に活動されているボランティアの皆様）

内容 **絵本の読み聞かせ、人形遊びなど**

春の朗読コンサート

風薫る爽やかな5月、鮮やかな木々の緑に囲まれた洋館で、
有三作品の朗読と音楽のハーモニーをお楽しみください。

野田 香苗

人見 剛

5月10日（金）・11日（土）　全2回公演　各日18:00–19:00

【参加費】無料 ＊入館料（300円）が必要です。【定員】35人（予定）

出演 **野田 香苗**（朗読）、**人見 剛**（クラリネット）

申込方法 往復はがきに、①希望する公演日、②参加者氏名（2名様まで）、
③代表者の住所・電話番号、④何を見て応募したか、
⑤返信用はがきに宛先をご記入の上、当記念館「朗読コンサート係」までお送りください。

申込締切 **4月26日（金）必着** ＊お1人様1通のみ。応募多数の場合は抽選　往復はがき申込

＊朗読作品等詳細は、決まり次第HP等でお知らせします。

問合せ

●**三鷹市山本有三記念館**　〒181-0013 三鷹市下連雀2-12-27　Tel: 0422-42-6233

開館時間：9:30–17:00　休館日：月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌日・翌々日が休館）

入館料：300円（20名以上の団体200円）＊中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料

＊「東京・ミュージアムぐるっとパス2019」利用者は無料　＊受付にて「年間パスポート（1,000円）」を販売しています。

企画展予告

日日是アート
～ニューヨーク、依田家の50年！～（仮称）

6月29日（土）～9月8日（日）　協力：南天子画廊

会場 **三鷹市美術ギャラリー**　Tel: 0422-79-0033

三鷹市下連雀3-35-1 ＊JR三鷹駅（南口）前CORAL5階

開館時間：10:00–20:00（入館は19:30まで）

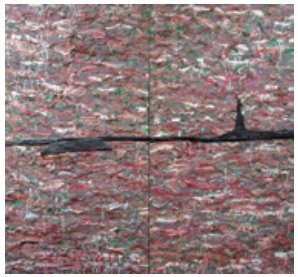
休館日：月曜日（7/15、8/12は開館）、7/16（火）、8/13（火）

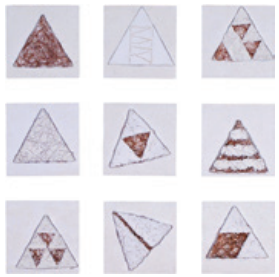
観覧料：会員640円／一般800円

65歳以上・学生（大・高）500円

＊中学生以下および障害者手帳をお持ちの方は無料

依田洋一朗《That's Entertainment》2017年　152.4×183.3cm


依田順子《New York Harbor》
1988年　152.5×163cm


依田寿久《Triangle series - relief》
（42点のうち）2012–13年　各26.6×26.6cm

2012年に当館で開催した「記憶のドラマ 依田洋一朗展」を発展させ、依田洋一朗（1972年～）とその両親依田寿久（1940年～）、依田順子（1943年～）の作品各20～30点を展示します。

彼ら3人はニューヨークの一角にある倉庫のように広いワンルームの空間で、ともに描き暮らしています。そのアトリエの様子を交え三者三様に展開する絵画空間をお楽しみください。

親子でスキンシップを図り、
楽しく水と触れ合いましょう。
水と触れ合うことで楽しい世界が広がります。
浮き輪やボールなどの道具を使って、
簡単にできる水遊びを体験します。

緊張せずに体も心もリラックスして
参加してください。
ちびっこ水遊び教室をきっかけに「水」を知り、
楽しさや喜びを見つけませんか？
同じ年頃の子どもたちや保護者の方々とも
友達になれるチャンスです。

ちびっこ水遊び教室 開催!!

6月1日(土)・2日(日)　1班 10:00–11:30 / 2班 13:30–15:00

会場 **SUBARU総合スポーツセンター『プール』**

【対象・定員】在園・在勤を含む市内の
3歳以上でおむつが取れている未就学児と保護者、各班75組(年少、年中、年長の各25組)

【参加費】1組500円(保護者のみ)

【持ち物】水着、バスタオル2枚、シューズロッカー代100円(返還式)、
ロッカー代100円(返還式)、水泳帽(年少：黄色、年中：白色、年長：赤色)

申込方法　講座申込システム　　申込期間　4月19日(金)～5月11日(土) ＊申込多数の場合は抽選

＊お申し込みは、1班・2班いずれかの班のみをご記入ください。　＊兄弟や双子の場合も、それぞれお申し込みが必要です。

2次募集

4月開講スポーツ教室 2次募集受付のお知らせ

心と身体を元気にするメニューをたくさん用意してお待ちしています。

【教室開催期日】4月7日(日)～6月30日(日)
＊定員に達していない教室は2次募集を受け付けます。詳細はHPをご確認ください。

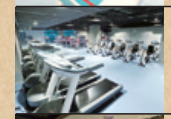
●**時間を決めて通うのが難しい方には「ワンコイン教室」がオススメです！**
【参加費】500円/1回

プログラム　バランスボール・ダイエットサーキット・BOOST core・
水中ウォーキング・クロール呼吸練習・エンジョイアクア・初めてクロール　など

◆定期教室に参加する前に体験したい方は体験も承ります。
お電話にてご予約いただくか、地下1階運動施設事務室にて「スポーツ教室体験申込書」をご記入ください。
【体験費用】1,200円/1回　＊定員を満たしていないものに限ります。

SUBARU総合スポーツセンターが更に利用しやすくなります！

プール・トレーニング室・ランニング走路の個人利用にあたり、これまで2時間の利用料金でご利用いただいておりましたが、1時間の利用料金を新設いたします。ぜひご利用ください。

	諸室名	市内料金	大人	高齢者	子ども	市外料金	大人	子ども
	プール	2時間	400円	300円	100円	2時間	600円	150円
		1時間	200円	150円	50円	1時間	300円	80円
	トレーニング室	2時間	400円	300円	—	2時間	600円	—
		1時間	200円	150円		1時間	300円	
	ランニング走路	2時間	150円	110円	50円	2時間	250円	100円
		1時間	80円	60円	30円	1時間	130円	50円

＊高齢者＝市内および調布市在住の70歳以上、子ども＝小中学生　＊トレーニング室：中学生以下は利用できません。

ボルダリングをやってみませんか!?

2020年東京五輪の正式種目にもなり、人気急上昇中のスポーツクライミング。カラフルなホールド(人工石)に手や足をかけながら壁を登っていくスポーツです。元気な子どもたちから、女性や初心者でも気軽に始めることができ、ひとりでも楽しめるところが大きな魅力です。この機会にぜひご利用ください。

会場 **SUBARU総合スポーツセンター『軽体操室』**

【対象】3歳以上
＊小学3年生までは、終日18歳以上の保護者の付き添いが必要です。
＊小学4年生～小学6年生と中学生が18時以降に利用する場合は、18歳以上の保護者の送迎が必要です。
＊付添者1人につき子ども2人まで入場が可能です。　＊付き添いされる保護者も施設を利用される場合は、施設利用料金がかかります。

【利用料金】市内料金：大人400円、70歳以上300円、子ども(小・中学生)100円
市外料金：大人600円、子ども(小・中学生)150円　＊未就学児は無料　＊各時間区分での完全入替制

＊利用時間等、詳細はHPをご覧ください。

卓球・バスケットボール・バドミントンの個人開放も行っています！

申込・問合せ

●**SUBARU総合スポーツセンター**　[HP] https://www.mitakagenki-plaza.jp/sports/
〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ内　Tel: 0422-45-1113
開館時間：9:00–22:00　休館日：毎月第4月曜日(第4月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日)

●**講座申込システム https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp**

平成31年度 市民大学学習生募集！

～ともに学び ともに考えよう～

「ともに学び、学びを生かし、学びの成果や絆が地域に受け継がれていくこころ豊かな社会を作る」ことを基本目標に、市民一人ひとりの学習を支援します。

市民大学では、市民のみなさんとの協働で企画してきた「総合コース」をはじめ、高齢者対象の「むらさき学苑」や、子育てなどをテーマとする「一般教養コース」などを開講します。身近な地域の問題から今日の社会を取り巻く問題まで、地域のみなさんと一緒に生涯学習センターで学んでみませんか。

総合コース 金曜日

5/17–2020 3/13
【全30回】10:00–12:00
会場 生涯学習センター
【定員】各28人（16歳以上）
【保育定員】計20人

101 これからの教育 ～主体的に学び、対話でつながる～
講師 菊地栄治（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）ほか

102 みたか子育て未来塾 ～強くしなやかな心を育てる～
講師 菅原裕子（NPO法人ハートフルコミュニケーション代表理事）ほか

103 現代社会を深く考える ～哲学的視点に立って～
講師 室山哲也（元NHK解説主幹）ほか

総合コース 土曜日

5/18–2020 3/14
【全30回】10:00–12:00
会場 生涯学習センター
【定員】各28人（16歳以上）
【保育定員】計10人

104 どうあるべきか日本の舵取り
～グローバル化がもたらしている試練～
講師 杉田 敦（法政大学法学部教授）ほか

105 世代をつなぐコミュニティの創造
講師 桑子敏雄（東京女子大学特任教授）ほか

＊総合コースは講義・討論・発表のほか講座運営など、学習生が主体的に学ぶ講座です。
＊「世代をつなぐコミュニティの創造」は、年代別に定員を設けます。［10代～20代 10人、30代～40代 10人、50代以上 8人］

一般教養コース

会場 生涯学習センター

106 むらさき学苑（60歳以上対象講座） 講師 斎藤陽一（美術ジャーナリスト）ほか
5/14–2020 3/10【火曜日/全30回】10:00–12:00 【定員】150人 保育なし

107 改育セミナー 講師 三好良子（産業能率大学総合研究所講師）
5/7–7/9【火曜日/全10回】10:00–12:00 【定員】25人（16歳以上） 【保育定員】20人
＊「改育セミナー」は、三好先生の連続講座を受講するのが初めての方を対象とします。

申込締切 4月15日（月）
申込方法 生涯学習センター（窓口受付21:00まで）へ直接お越しいただくか、電話または講座申込システム

注意事項
- 申し込みができるのは、三鷹市民（在勤・在学含む）の方で、原則として全回出席できる方
- 全講座で、同時開催の講座は、重複して申し込むことはできません。 • 受講料は無料です。ただし、材料費は自己負担となります。
- 定員を超えた場合は抽選となります。当選者のみ、はがきでご連絡いたします。
- 保育は満1歳以上の未就学児のみ。保育説明会＊（お子さん同伴）の参加必須
  ＊【保育説明会実施日（全日程10:00–12:00）】101–103：5月10日（金）、104–105：5月11日（土）、107：4月23日（火）
- 106むらさき学苑は、三鷹市で募集する「東むらさき学苑」「西むらさき学苑」と同時に申し込むことはできません。

詳しい日程・内容については、講座申込システムをご覧ください。

三鷹中央防災公園 花壇サポーター（養成講座受講生）募集

花壇サポーターになって、三鷹中央防災公園の東広場にある市民花壇の企画や管理をしてみませんか。

花壇サポーターは、月1回の防災公園内における市民花壇などのメンテナンスを行うとともに、花壇サポーター養成講座を受講していただき、花壇管理や植栽プランニングなどについて学んでいきます。

花壇サポーター養成講座では講師の方と一緒に植栽管理等の基礎から学んでいただけますので、初心者の方でもお気軽に参加できます。

4月26日（金）～2020年3月27日（金）
【全12回】＊花壇サポーターの任期は2年間となります。
13:00–16:00 ＊花壇メンテナンスの時は15:00まで
【定員】10人（16歳以上）＊申込多数の場合は抽選 **【受講料】無料**
講師 一柳智香（ガーデナー）
申込締切 4月12日（金）必着
申込方法 講座申込システムまたは往復はがき 往復はがき申込

初めての方向け 薬膳料理で健康長寿！

薬膳料理とは、中国伝統医学を基本とした体質や季節に合わせ、未病を防ぐために薬食同源の理論で食材を組み合わせた料理です。

本講座では、薬膳料理の基本を学び、実習として胃腸の調子を整えて代謝を上げる薬膳料理（薬膳スープ、雑穀ご飯、ニンジンとナツメきんぴら等）を作ります。

美味しい料理を食べて、健康な身体をつくりましょう！

＊メニューは当日の仕入れにより変更になる場合がございます。

5月29日（水）10:30–12:30 **会場 生涯学習センター 料理実習室**
【定員】16人（16歳以上）＊申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先 **【受講料】1,500円**（材料費込み）
講師 谷口ももよ（一般社団法人東洋美食薬膳協会代表理事）
申込締切 4月25日（木）必着 **申込方法** 講座申込システムまたは往復はがき 往復はがき申込

往復はがき申込 返信用表面に住所、氏名、往信用裏面に、講座名、氏名（フリガナ）、年齢、郵便番号、住所、電話番号、この講座を何で知ったかを記載 ＊詳細はHPをご覧ください。

申込・問合せ
●**三鷹市生涯学習センター** 〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階
Tel: 0422-49-2521 Fax: 0422-43-0334 開館時間：9:00–22:00
休館日：毎月第4月曜日（第4月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日）
●**講座申込システム https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp**

三鷹市芸術文化センター 風のホール

New! **風のホールでピアノを弾こう** スタインウェイ編
5月21日(火)・24日(金)
申込締切 4月25日(木)
▶P17

[共催] オーケストラ・リベラ・クラシカ 第43回演奏会
6月29日(土) 15:00開演 チケット発売中

オカリナ七重奏団G.O.B.
7月7日(日) 14:00開演 チケット発売中 託児あり

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア 第79回定期演奏会
7月27日(土) 15:00開演 チケット発売中 託児あり

New!
ウィーン＝ベルリン ブラス・クインテット
9月16日(月・祝) 15:00開演 託児あり
チケット発売日 会員4月9日(火) / 一般4月16日(火)
▶P13

New!
ブルガリアン・ヴォイス アンジェリーテ
9月28日(土) 15:00開演 託児あり
チケット発売日 会員4月10日(水) / 一般4月17日(水)
▶P15

New!
アンサンブル・ウィーン＝ベルリン
9月29日(日) 15:00開演 託児あり
チケット発売日 会員4月9日(火) / 一般4月16日(火)
▶P14

New!
吉井瑞穂(オーボエ) **& 鈴木大介**(ギター)
10月12日(土) 15:00開演 託児あり
チケット発売日 会員4月10日(水) / 一般4月17日(水)
▶P16

三鷹市芸術文化センター 星のホール

柳亭市馬 独演会 [完売]
4月14日(日) 14:00開演

桃月庵白酒 三遊亭兼好 二人会 [完売]
4月20日(土) 14:00開演 託児あり

▶P1
CINEMA SPECIAL **名監督×名女優**
昼の部11:00 / 夜の部16:00上映開始

5月11日(土) 溝口健二×田中絹代
『武蔵野夫人』『噂の女』
チケット発売日 会員4月11日(木) / 一般4月12日(金)

6月8日(土) 市川 崑×岸 惠子
『かあちゃん』『細雪』
チケット発売日 会員5月9日(木) / 一般5月10日(金)

7月6日(土) 川島雄三×新珠三千代
『洲崎パラダイス赤信号』『あした来る人』
チケット発売日 会員6月6日(木) / 一般6月7日(金)

春風亭一之輔 古今亭文菊 二人会 [完売]
5月12日(日) 14:00開演 託児あり

New!
日本のラジオ『カケコミウッタエ』 託児あり
5月25日(土)～6月2日(日) 全11公演 *5/25のみ
チケット発売日 会員4月18日(木) / 一般4月19日(金)
▶P5

New!
桂 宮治 独演会 託児あり
6月9日(日) 14:00開演
チケット発売日 会員4月14日(日) / 一般4月18日(木)
▶P9

New!
柳家さん喬 独演会 託児あり
6月22日(土) 昼の部14:00 / 夜の部18:00開演
チケット発売日 会員4月20日(土) / 一般4月25日(木)
▶P9

New!
三鷹のこども寄席 その20
柳家花緑さんの落語で、大笑いするのだ！
7月7日(日)
▶P11
●未就学児の回11:00開演 *小学生以上の回のみ
●小学生以上の回14:00開演 託児あり
チケット発売日 会員4月11日(木) / 一般4月12日(金)

New!
古今亭菊之丞 独演会 託児あり
7月21日(日) 14:00開演
チケット発売日 会員4月14日(日) / 一般4月18日(木)
▶P10

三鷹市公会堂 光のホール

東西狂言の会 [完売]
4月13日(土) 14:00開演

みたか井心亭

寄席井心亭 柳家喬太郎 [完売]
4月17日(水) 19:00開演

寄席井心亭 立川志らく [完売]
4月24日(水) 19:00開演

寄席井心亭 柳家花緑 [完売]
6月5日(水) 19:00開演

寄席井心亭 林家たい平 [完売]
6月19日(水) 19:00開演

New!
寄席井心亭 柳家喬太郎 お1人様2枚まで
6月26日(水) 19:00開演
チケット発売日 会員4月16日(火) / 一般4月17日(水)
▶P10

New!
寄席井心亭 立川志らく 予約1回4枚まで
10月23日(水) 19:00開演
チケット発売日 会員4月23日(火) / 一般4月24日(水)
▶P10

三鷹市美術ギャラリー

New! 企画展予告
日日是アート
～ニューヨーク、依田家の50年！～(仮称)
6月29日(土)～9月8日(日)
▶P20

三鷹市山本有三記念館

企画展
女人哀詞の時代
9月1日(日)まで開催中 9:30–17:00
▶P19

New!
おはなし会
4月13日(土) 14:00開演
▶P19

New!
春の朗読コンサート
5月10日(金)・11日(土) 各日18:00開演
申込締切 4月26日(金)
▶P20

太宰治文学サロン

企画展示
太宰治と今官一 ～郷里から三鷹へ～
6月23日(日)まで開催中 10:00–17:30
▶P18

New!
太宰治作品朗読会 第108回
出演 御手洗 徹
4月19日(金) 18:00開演 申込締切 4月9日(火)
▶P18

New!
太宰治作品朗読会 第109回
出演 林田一高
5月17日(金) 18:00開演 申込締切 5月9日(木)
▶P18

SUBARU総合スポーツセンター

New!
ちびっこ水遊び教室
6月1日(土)・2日(日) ①10:00– ②13:30–
申込期間 4月19日(金)～5月11日(土)
▶P21

三鷹市生涯学習センター

New! **平成31年度 市民大学学習生募集！**
▶P23
申込締切 4月15日(月)

New!
花壇サポーター募集
申込締切 4月12日(金)
▶P24

New!
初めての方向け 薬膳料理で健康長寿！
申込締切 4月25日(木)
▶P24

後援事業

ジャンルにこだわらず、親しみやすい曲ばかりです。
気軽にお越しください。

宮崎京子

第32回 モンジャーニ
日本、世界の名曲を楽しむ夕べ
5月26日(日) 15:30開演
会場 三鷹市芸術文化センター 風のホール
全席自由 3,000円
出演 宮崎京子、佐藤奈美、大園麻衣子
曲目 情熱大陸、宵待草、花は咲く
主催・問合せ (株)レガート 宮崎 電話0422-20-0707

25回記念コンサート。連弾、2台ピアノ、歌等、盛りだくさん。
第25回 ピアノジョイントコンサート
6月2日(日) 14:00開演
会場 三鷹市芸術文化センター 風のホール
全席自由 入場無料
出演 池谷紗央里、鎌倉裕子、木下裕美 ほか
曲目 ショパン：バラード第2番
ガーシュウィン：アイガットリズム変奏曲
マスカーニ：アヴェマリア ほか
主催・問合せ 毬蹴門会(まけるもんかい) 高井
電話0422-55-3553

＊チケット購入枚数に、制限のある公演があります。
＊U-23利用の中学生以上の方、0-70利用の方は、
公演当日に身分証明書をご持参ください。
＊学生券をお求めの方は、公演当日に学生証をご持参ください。
＊公演内容等は変更になる場合もございます。
＊公演中止の場合を除き一度購入されたチケットの払い戻し・交換はできません。
＊営利を目的としたチケットの転売は固くお断りいたします。
＊情報誌の作成中にチケットが完売となる場合もございますので、ご了承ください。
＊風のホール2階席へのエレベーターはございません。階段をご利用ください。
＊次号のMARCL+147は2019年5月下旬発行予定です。